静岡市清水区感染症発生動向

2015 年 10 週

集計期間 3/2-8

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-	
RS感染症 咽頭結膜熱 溶連菌感染症 感染性胃腸炎 水痘 手足口病		1 2	2	1 7 1	2 7 1	1 10	10 1	4 7 2	1 3	1 5	2		1		14 69 5
伝染性紅斑 突発性発疹 百日咳 ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎			1	1	6 1	1	3	1		1					12 3
麻疹															
マイコプラズマ 髄膜炎 MCLS															
小児科Flu			1	2	2	2		1			2	! 1			11
			小	小児科定点総数			増減 4		前边		103.	6%定	点当たり	19	
		病院:開業医 5:109 増減 -1:+5													
内科Flu								1				1		3	5

インフルエンザ総数 16

増減 -15 前週比 51.6 % 定点当たり 1.8 小児科:内科 11:5 増減 -11:-4

総数114、前週の103%と、横ばいです。

首位は、感染性胃腸炎、前週比94.5%、定点当たり11.5とやや減少です。

2位は、溶連菌感染症、前週比350%、定点当たり2.3と3倍増です。

3位は、伝染性紅斑、前週比600%、定点当たり2と6倍増です。

インフルエンザ、4位まで落ちました。前週比50%、定点当たり1.8と半減です。

以下は、定点当たり1未満で、少数ですが、水痘、5名報告です。

RSウイルス感染症、咽頭結膜熱は、Oになりました。

内科も含むインフルエンザ前週比51.6%と半減、小児5内科2の7/9定点からから報告、 内科定点は、前週比55%、小児科定点は、前週比50%と半減です。 B型は、型報告のあったうち1定点から1名のみで、流行の気配はありません。

胃腸炎、溶連菌、伝染性紅斑が目立ちますが、他は、落ち着いた春の状況です。